

西 ～にし～

Good News 特集号

■八王子桑志高等学校「オリジナルパーテーション製作・活用」

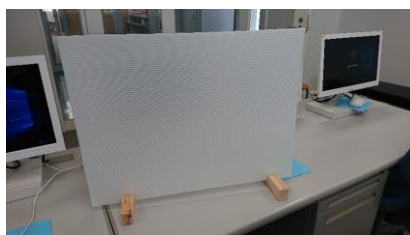
“明るい・軽い・安い”のオリジナルパーテーション 専門分野の先生方が授業の合間を縫って製作

本校は、平成19年に開校し、14年目を迎える日本初の産業科の高校です。産業科として、「ものづくりから流通まで」をキャッチフレーズに、工業科と商業科の学習を横断的に行っています。

学校の教育活動を再開するに当たっては、「with コロナ」の下で、学校の「新しい日常」を定着させていくことが必要です。そのために現在行っている様々な取組の1つが、職員室や教室での3つの密のうち「密接」を避けるためのパーテーションの製作です。本校では、実習助手の先生方を中心に、「ものづくり」の技術を生かし、授業の合間を縫ってオリジナルパーテーションを製作しました。パーテーション製作には、アクリル板や段ボールが使われることが多いのですが、アクリル板は高価であり、また段ボールは暗くなることに加え、アルコール消毒等には不向きです。そこで本校では、半透明の「プラスチック段ボール」を利用し、支えは垂木を加工して使いました。この素材を使用することで、明るく安価（1枚 106円）で軽く（約 165g）、また消毒作業がしやすいオリジナルパーテーションを作ることができました。また、対面時の飛沫拡散防止のために、透明なビニールシートを利用して、天井から吊るす形のすっきりしたパーテーションも製作しました。軽量化して、天井を傷つけることなく取り付けられる工夫を施すとともに、学校にあるものを活用して、製作費を抑えました。

本校のキャッチフレーズである、「ものづくりから流通まで」により、このオリジナルパーテーションは、将来的に販売まで漕ぎつけるのが理想です。まずは普及のため、ご希望の学校には作り方のノウハウを提供させていただきます。

（デザイン分野・専修実習助手 小田切雅夫、相曾貴宏、クラフト分野・実習助手 高橋凛花）



プラスチック段ボールでの利用



生徒用 PC のパーテーション



ビニールシートを吊るしたもの



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話 (管理課) (042) 527-6590

(経営支援室) (042) 527-6980

ファクシミリ (042) 527-6468